



季節による発生傾向の違い(令和2年～令和7年)



冬期間以外(4月～11月) ☀️

冬期間(12月～3月) ❄️

事故発生件数
1,226件

事故発生件数
609件

交通量の多い主要交差点は
事故も多いです！
気をつけましょう！



季節を問わず国道13号、
新国道の事故が多いです。
通勤・退勤時間の重なる
午前7時～8時台
午後4時～7時台
が多い傾向にあります。



違いがわかるかな？
左の方が件数が2倍。
右の方が赤が多い？



青から赤になるほど、
交通事故の発生が多い
場所！

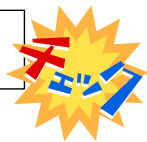
- 冬期間の交通事故の特徴
- ・交差点における滑走による追突事故が多い。(3件に1件は滑走事故)
 - ・ブレーキ操作不適による事故が多い(冬期間以外の約3倍)
 - ・横断歩行者との事故が多い。(視界不良により、歩行者を見落としやすい)
 - ・件数は少ないが対向車線進入による正面衝突が発生しやすい。

左の図より赤くなっている
場所は、冬期に事故が増える
危険箇所かも！



危険箇所を知って、冬に備えましょう！ 重要

統計数字から見てみましょう！（左が冬期間以外、右が冬期間）



1 事故類型×時間帯

事故類型	時間帯	0～1	2～3	4～5	6～7	8～9	10～11	12～13	14～15	16～17	18～19	20～21	22～23	総計	構成率
人対車両		6		1	13	20	22	18	19	29	36	6	8	178	14.5
対面通行中		1			2	1		1		1	2		1	9	0.7
背面通行中		1			2	2	2	2	2	1	2			14	1.1
横断中－横断歩道				1	2	8	6	4	9	16	16	2	5	69	5.6
横断中－横断歩道付近		1					1				1			4	0.3
横断中－その他		2			6	4	2	3	4	4	9	2	1	37	3.0
路上作業中							2	2			1			5	0.4
路上停止中								1						1	0.1
人対車両－その他		1			1	5	9	5	3	7	5	2	1	39	3.2
車両相互		9	4	8	96	163	144	136	125	177	127	35	14	1038	84.7
正面衝突						1	4	3	3	4	3	1		19	1.5
追突			1	4	30	50	44	36	45	61	44	16		331	27.0
出会い頭		7	3	3	40	73	59	54	46	71	48	5	5	414	33.8
すれ違い時					1				2	2	2		1	8	0.7
追越・追抜時						2	1	3	1	1	1	2		11	0.9
左折時					8	12	6	7	6	11	11	1	1	63	5.1
右折時－その他		2			2	5	3	4	2	4	5	3		30	2.4
右折時－右折直進					9	7	9	12	7	11	7	6	5	73	6.0
車両相互－その他				1	6	13	18	17	13	12	5	3	1	89	7.3
車両単独					1	1		1	2		3	2		10	0.8
総計		15	4	10	110	183	166	155	146	206	166	43	22	1226	100.0
構成率		1.2	0.3	0.8	9.0	14.9	13.5	12.6	11.9	16.8	13.5	3.5	1.8	100.0	

冬期間は道路横断中や追突事故が多くなっています。
路面凍結や雪による視界不良が原因と考えられます。



1 事故類型×時間帯

事故類型	時間帯	0～1	2～3	4～5	6～7	8～9	10～11	12～13	14～15	16～17	18～19	20～21	22～23	総計	構成率
人対車両		6	2	1	5	10	11	8	7	15	32	10	3	110	18.1
対面通行中		1			1	1			2		1			6	1.0
背面通行中		1			1		1			1	3		2	9	1.5
横断中－横断歩道		3	1		2	4	3	3	3	9	18	5		51	8.4
横断中－横断歩道付近							1					1		2	0.3
横断中－その他			1	1	1	2	3	2	1	2	3	1	1	18	3.0
路上横臥		1												1	0.2
路上停止中										1	1	2		4	0.7
人対車両－その他						3	3	3	1	2	6	1		19	3.1
車両相互		1	2	3	51	75	68	53	66	81	55	22	8	485	79.6
正面衝突					1	3	2	1	3	2			1	13	2.1
追突－その他		1		2	23	31	29	25	27	35	32	12	2	219	36.0
出会い頭			2	1	18	21	26	17	20	26	9	6	2	148	24.3
すれ違い時					1	1		1		1	1		1	6	1.0
追越・追抜時					1	1			2	1				5	0.8
左折時						1		1	1	3	3	1		10	1.6
右折時－その他						1	2	1	1	3			1	9	1.5
右折時－右折直進					2	4	5	1	7	4	4			27	4.4
車両相互－その他					5	12	4	6	5	6	6	3	1	48	7.9
車両単独				1	1	2	1	2	1	2	1	1	2	14	2.3
総計		7	4	5	57	87	80	63	74	98	88	33	13	609	100.0
構成率		1.1	0.7	0.8	9.4	14.3	13.1	10.3	12.2	16.1	14.4	5.4	2.1	100.0	

悪天候による視界不良や日没が早まることにより、横断歩行者の発見が遅れてしまうのが原因と考えられます。



2 路線×道路形状

道路形状		交差点		単路				その他	総計
路線名		交差点	交差点付近	カーブ屈折	トンネル	橋	左記以外		
国道		54	46	4		12	70		186
	国道7号	13	9	2		4	17		45
	国道13号	41	37	2		8	53		141
県道		166	77	5	5	8	97		358
	秋田天王線	79	36	1		5	62		183
	秋田停車場線	34	12				13		59
	秋田岩見船岡線	17	12			3	11		43
	寺内新屋雄和線	17	5	1			2		25
	土崎港秋田線	7	4				3		14
	その他の一般地方道	4	4	1			3		12
	秋田御所野雄和線	5	2	1			1		9
	その他の主要地方道	1	1	1			1		4
	自動車専用道（秋田中央道陸）上り線					3		1	4
	自動車専用道（秋田中央道陸）下り線					2			2
	秋田昭和線	1	1						2
	秋田雄和本荘線	1							1
	市道		366	109	8		5	124	
その他			1				4	65	70
総計		586	233	17	5	25	295	65	1226

※ 交差点付近とは、交差点の側端から30メートル以内の部分

※ その他は、駐車場や私道など、通常の道路に属さないものをいう。

冬期間は交差点付近の追突事故が多くなる傾向にあります。
これは、交差点付近の積雪路面が踏み固められたり、信号待ち停止中の車両の熱により、凍結路面が溶け出し、氷の上に水の膜が張ることで、さらに滑りやすくなるためです。

このような道路をミラーバーンといいます。気をつけましょう。



3 年齢別（第1当事者）

年齢別	件数	構成率
不明	4	0.3
～19	36	2.9
20～29	206	16.8
30～39	164	13.4
40～49	218	17.8
50～59	165	13.5
60～64	97	7.9
高齢者	336	27.4
65～69	96	7.8
70～79	190	15.5
80～	50	4.1
総計	1226	100.0

4 法令違反（第1当事者）

法令違反	件数	構成率
前方不注意	191	15.6
安全不確認	185	15.1
指定場所一時不停止等	142	11.6
歩行者妨害等	120	9.8
動静不注視	106	8.6
信号無視	97	7.9
操作不適	82	6.7
優先通行妨害等	68	5.5
通行区分 右側通行	19	1.5
酒酔い運転	3	0.2
対象外当事者	4	0.3
調査不能	2	0.2
その他	207	16.9
総計	1226	100.0

若年者が多い理由として、経験不足による雪道への不慣れ、対応力不足が考えられます。



3 年齢別（第1当事者）

年齢別	件数	構成率
～19	16	2.6
20～29	111	18.2
30～39	68	11.2
40～49	92	15.1
50～59	107	17.6
60～64	46	7.6
高齢者	169	27.8
65～69	53	8.7
70～79	91	14.9
80～	25	4.1
総計	609	100.0

右側通行は、正面衝突の要因となっています。



4 法令違反（第1当事者）

法令違反	件数	構成率
操作不適	113	18.6
前方不注意	82	13.5
歩行者妨害等	79	13.0
指定場所一時不停止等	62	10.2
安全不確認	49	8.0
動静不注視	46	7.6
信号無視	37	6.1
優先通行妨害等	26	4.3
通行区分 右側通行	18	3.0
その他の違反	95	15.6
調査不能	2	0.3
総計	609	100.0

ブレーキ操作不適がほとんどです。
つまり凍結・積雪路面において適切なブレーキ操作ができず追突するという事故が多くなります。

